

# 2026年3月期 第1四半期 決算説明資料

2025年 7月28日  
神奈川中央交通株式会社  
(東証プライム 9081)

## 2026年3月期第1四半期 決算実績

売上高:315億円(対前年+7.2%)、営業利益:26億円(対前年△3.8%)、  
親会社株主に帰属する四半期純利益:15億円(対前年△51.9%)

売上高:自動車販売事業における新車および中古車販売台数の増加などにより増収

営業利益:上記増収も、旅客自動車事業における設備投資拡大による減価償却費の増加や従業員の待遇改善により減益

四半期純利益:前期に繰延税金資産の一部を再計上したことの反動などにより減益

旅客自動車事業	不動産事業	自動車販売事業	その他の事業
売上高:147億円(+0億円)	売上高:18億円(+2億円)	売上高:99億円(+14億円)	売上高:70億円(△1億円)
営業利益:11億円(△5億円)	営業利益:6億円(+0億円)	営業利益:5億円(+1億円)	営業利益:3億円(+1億円)
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆旅客需要は堅調に推移</li> <li>◆減価償却費や人件費が増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆戸建分譲の販売戸数が増加</li> <li>◆賃貸施設の一部テナント解約</li> <li>◆賃貸施設の修繕費が減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆商用車販売および輸入車販売の販売台数が増加</li> <li>◆車両整備収入が増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆運賃箱など部品販売が反動減</li> <li>◆商用車架装の受注が増加</li> <li>◆設備工事の受注が増加</li> </ul>

## 2026年3月期 連結業績予想・配当予想

連結業績予想・配当予想ともに2025年4月公表値を据え置き

## ◆連結業績予想

- 第2四半期(累計)の業績動向は、第1四半期決算を踏まえ現在精査中
- 通期は、概ね計画通りの着地を予想

## ◆配当予想

- 年間配当金は1株当たり90円を予定

# 2026年3月期 第1四半期 決算概要

---

(単位:百万円)

	2026年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減
<b>売上高</b>	<b>31,500</b>	<b>29,371</b>	<b>2,128 (7.2%)</b>
旅客自動車事業	14,793	14,723	69
不動産事業	1,837	1,568	268
自動車販売事業	9,947	8,539	1,407
その他の事業	7,081	7,204	△ 123
調整額	△ 2,158	△ 2,664	506
<b>営業利益</b>	<b>2,609</b>	<b>2,712</b>	<b>△ 102 (△ 3.8%)</b>
旅客自動車事業	1,123	1,648	△ 524
不動産事業	672	594	78
自動車販売事業	537	340	196
その他の事業	361	216	144
調整額	△ 84	△ 87	2
<b>経常利益</b>	<b>2,725</b>	<b>2,963</b>	<b>△ 238 (△ 8.0%)</b>
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>1,528</b>	<b>3,177</b>	<b>△ 1,648 (△ 51.9%)</b>
<b>1株当たり四半期純利益</b>	<b>124.57円</b>	<b>258.93円</b>	<b>△ 134.36円</b>
減価償却費	1,544	1,274	270
EBITDA(営業利益+減価償却費)	4,154	3,986	167

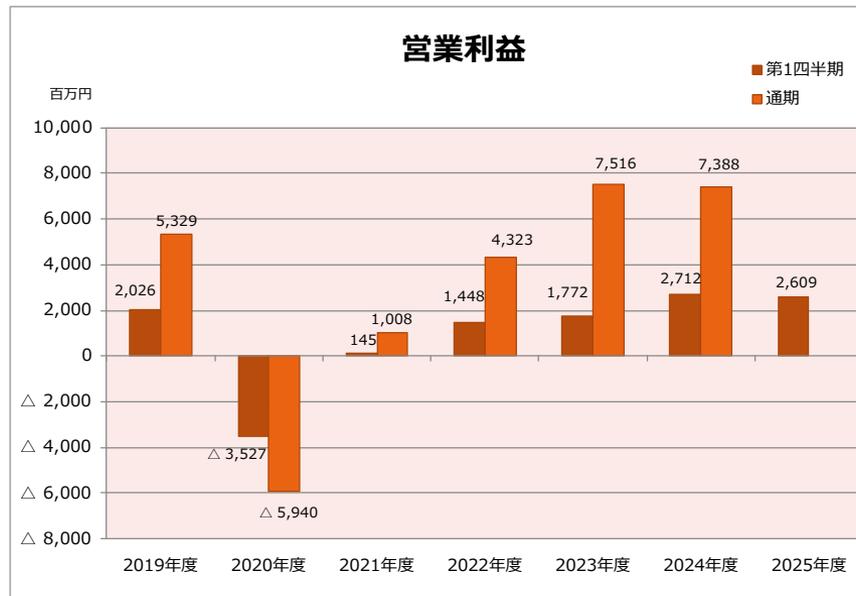
(単位:百万円)

	2026年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減・主な要因	
営業外収益	349	379	△ 30 (△ 8.0%)	助成金収入△75 受取配当金+73
営業外費用	233	128	105 (82.3%)	支払利息+59
特別利益	319	213	105 (49.7%)	補助金収入+129 固定資産売却益△23
特別損失	470	193	277 (143.3%)	固定資産除却損+130 固定資産圧縮損+119

# 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2026年3月期 第1四半期	2025年3月期	増減・主な要因	
流動資産	31,422	31,874	△ 452 (△ 1.4%)	現金及び預金△1,126 商品及び製品+829
固定資産	133,815	133,570	245 (0.2%)	投資有価証券+1,038 有形固定資産△417(車両運搬具他)
資産合計	165,237	165,444	△ 206 (△ 0.1%)	
流動負債	56,057	56,952	△ 895 (△ 1.6%)	短期借入金△2,602 賞与引当金+1,402
固定負債	44,159	45,089	△ 929 (△ 2.1%)	長期借入金△878
負債合計	100,217	102,042	△ 1,824 (△ 1.8%)	
純資産合計	65,020	63,402	1,618 (2.6%)	利益剰余金+915 その他有価証券評価差額金+625
負債純資産合計	165,237	165,444	△ 206 (△ 0.1%)	
1株当たり純資産額	4,829.61円	4,704.37円	125.24円	
自己資本比率	35.9%	34.9%	1.0P	
有利子負債残高 (借入、社債及びリース)	58,444	61,876	△ 3,431	借入金△3,481 リース債務+49



※「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を2024年度の期首より適用しており、2022年度通期実績について、当該会計基準等を遡及適用した後の数値になっております。

神奈川中央交通グループ 子会社16社、関連会社2社  
うち 連結子会社 16社  
持分法適用会社 1社 (大山観光電鉄(株))

## 〈主な連結会社〉

### ■ 旅客自動車事業

神奈川中央交通(株)、神奈中タクシー(株)、神奈中観光(株)

### ■ 不動産事業

神奈川中央交通(株)、神奈中タクシー(株)、神中興業(株)

### ■ 自動車販売事業

神奈川三菱ふそう自動車販売(株)、神奈中相模ヤナセ(株)

### ■ その他の事業

神奈川中央交通(株)、(株)神奈中商事、(株)神奈中スポーツデザイン、  
(株)神奈中情報システム、横浜ビルシステム(株)

- ・2025年4月1日に神奈川中央交通(株)は神奈川中央交通東(株)および神奈川中央交通西(株)を吸収合併いたしました。
- ・2025年4月1日に横浜ビルシステム(株)は東光(株)の全株式を取得し、同社は当社の連結子会社となりました。

(単位:百万円)

	2026年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減・主な要因	
売上高	14,793	14,723	69 (0.5%)	乗合バス事業+11 貸切バス事業+19 タクシー事業+38
営業利益	1,123	1,648	△ 524 (△ 31.8%)	乗合バス事業△472 貸切バス事業△5 タクシー事業△47

## 【対前年】

乗合バス事業は、旅客需要が堅調に推移したことにより増収、設備投資拡大に伴う減価償却費や待遇改善による人件費の増加により減益  
 貸切バス事業は、教育旅行の受注増に加え、契約単価の向上を図ったことにより増収、車両修繕費の増加により減益  
 タクシー事業は、一車当たりの収入が増加したことにより増収、人件費の増加により減益

※参考 乗合バス事業輸送人員

(単位:百万人)

	2026年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減率
定期外	33	34	△ 3.5%
定期	20	18	8.5%
合計	53	52	0.7%

(単位:百万円)

	2026年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減・主な要因	
売上高	1,837	1,568	268 (17.2%)	賃貸事業△77 分譲事業+346
営業利益	672	594	78 (13.1%)	賃貸事業+44 分譲事業+33

## 【対前年】

賃貸事業は、一部テナントの解約などにより減収、賃貸施設の修繕費が減少したことにより増益  
分譲事業は、湘南エリアを中心に戸建分譲を推進し、販売戸数が増加したことにより増収増益

(単位:百万円)

	2026年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減・主な要因	
売上高	9,947	8,539	1,407 (16.5%)	商用車販売事業+805 輸入車販売事業+602
営業利益	537	340	196 (57.8%)	商用車販売事業+146 輸入車販売事業+50

## 【対前年】

商用車販売事業は、小型トラックの販売台数が増加したことや、車両整備収入の増加などにより増収増益

輸入車販売事業は、新車および中古車販売台数の増加により増収増益

※参考 新車販売台数

(単位:台)

	2026年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減
トラック	497	456	41
バス	15	21	△6
輸入車	129	109	20

(単位:百万円)

	2026年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減・主な要因	
売上高	7,081	7,204	△ 123 (△ 1.7%)	流通事業△432 商用車架装事業+162 ビル管理事業+113
営業利益	361	216	144 (66.8%)	商用車架装事業+62 流通事業+33 ビル管理事業+14

## 【対前年】

流通事業は、前期のバス運賃箱販売の反動により減収、設備工事の受注が増加したことなどにより増益

商用車架装事業は、カプラ架装の受注台数が増加したことにより増収増益

ビル管理事業は、東光株式会社の新規連結やスポット工事の受注が増加したことなどにより増収増益

# 2026年3月期 業績予想 (2025年4月30日公表値)

---

(単位:百万円)

	2026年3月期 業績予想	2025年3月期	増減
<b>売上高</b>	<b>119,700</b>	<b>118,149</b>	<b>1,550 (1.3%)</b>
旅客自動車事業	57,640	57,219	420
不動産事業	7,590	6,723	866
自動車販売事業	38,780	38,586	193
その他の事業	28,330	30,788	△ 2,458
調整額	△ 12,640	△ 15,168	2,528
<b>営業利益</b>	<b>4,870</b>	<b>7,388</b>	<b>△ 2,518 (△ 34.1%)</b>
旅客自動車事業	1,700	2,799	△ 1,099
不動産事業	1,640	2,179	△ 539
自動車販売事業	770	1,405	△ 635
その他の事業	1,090	1,375	△ 285
調整額	△ 330	△ 371	41
<b>経常利益</b>	<b>4,650</b>	<b>7,745</b>	<b>△ 3,095 (△ 40.0%)</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>2,520</b>	<b>5,083</b>	<b>△ 2,563 (△ 50.4%)</b>
<b>1株当たり当期純利益</b>	<b>205.36円</b>	<b>414.28円</b>	<b>△ 208.92円</b>
売上高営業利益率	4.1%	6.3%	△ 2.2P
減価償却費	6,590	5,586	1,011
資本的支出	15,800	13,509	2,295
EBITDA(営業利益+減価償却費)	11,460	12,974	△ 1,506
有利子負債/EBITDA倍率	6.5倍	4.8倍	1.7P
ROE	4.3%	9.1%	△ 4.8P

※2025年4月公表の業績予想から修正していません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

<お問い合わせ先>

神奈川中央交通株式会社 経営戦略部 広報・IR担当 TEL:0463-22-8894